

飯田恭子 日本医療科学大学 保健医療学部 診療放射線学科 教授  
学位：博士（保健学）（就任：平成19年4月）

○教育担当科目

人間と健康、国際保健学、放射線科学系英文購読Ⅰ、放射線科学系英文購読Ⅱ

○研究業績

I. 著書：単独著書、分担執筆（辞書、全集などを含む）、翻訳、編集および監修など

1. カレントメディカルイングリッシュⅡ（単著）：医学書院，飯田恭子，2001.
2. 医療英語の達人（単著）：ストレス科学研究所（早稲田大学），飯田恭子，2001.
3. カルテ用語辞典（単著）：ナツメ社，飯田恭子，2001.
4. メディカル英語辞典（単著）：アスク出版，飯田恭子，2003.
5. カタカナ語わかる医療英単語（単著）：医学書院，飯田恭子，2004.
6. アタマとオシリでわかる医療英単語（単著）：医学書院，飯田恭子，2004.
7. ネイティブ感覚でわかる医療動詞（単著）：医学書院，飯田恭子，2005.
8. 看護用語・略語ハンドブック（単著）：ナツメ社，飯田恭子，2006.

△日本医療科学大学 保健医療学部 診療放射線学科 就任後の著書

1. ナースのための病院で使う英会話（共著）：学習研究社，（監修 飯田恭子），2007.
2. カレントメディカルイングリッシュⅢ（単）：医学書院，飯田恭子，2007.
3. 図解人体解剖学用語辞典（単著）：ナツメ社，飯田恭子，2007.
4. 医療職が覚えておきたい運動・動作の英語表現（単著）：医学書院，飯田恭子，2007.
5. カルテ用語ハンドブック（単著）：ナツメ社，飯田恭子，2008.
6. 早引き看護カルテ用語辞典Ⅱ（単著）：ナツメ社，飯田恭子，2008.
7. Global Development of Community Colleges, Technical Colleges, and Further Education Programs : American Association of Community Colleges. Joyce Tsunoda, Yasuko Iida ; 117-130, 2009.

II. 学術論文

①論文

1. 飯田恭子 : Changing Views of Patients as Expressed Through Terminology. ストレス科学研究, 第15巻 ; 58-64, 2000.
2. 柳沢 健, 飯田恭子他 : 入学・在学時成績と医療系国家試験合否との関係. 東京保健科学学会誌, 第2巻, 第4号 ; 16-21, 2000.
3. 飯田恭子 : Mid-Level Nurses' Views of Profession and Related Stress. ストレス科学研究, 15巻 ; 64-70, 2000.
4. 風間結香, 浅野洋子, 飯田恭子 : 看護領域におけるアロマセラピーの有効性と今後の課題. 健康回復学会誌, 第2号 ; 42-46, 2002.
5. Marshall Smith, 飯田恭子 : A Comparative Study of the KAP in Freshmen. 日本健康科学学会誌, 第19巻, 第2号 ; 136-150, 2003.
6. 飯田恭子 : 国際学会発表上の技術的課題. 家族看護学雑誌, 第10巻, 第3号 ; 111-115, 2005.

△日本医療科学大学 保健医療学部 診療放射線学科 就任後の論文

1. 齊藤幸代, 辻田佳小里, 飯田恭子: コマーシャルから見た健康観の分析. 健康回復学会誌, 第7巻, 第1号; 16-22, 2007.
2. 下平唯子, 岡部聡子, 飯田恭子: 男性路上生活者の健康と生活の動向. 民族衛生, 第73巻, 第3号; 87-99, 2007.
3. 杉下知子, 飯田恭子他: 地域で生活する障害児・者の自立生活を支援する看護プログラムの開発. 厚生労働省科学研究費補助金, 医療安全・医療技術評価総合研究事業, 平成18年度総括・分担研究報告書, 2007.
4. 飯田恭子: Specialized English Education for Health/Medical Professionals. 日本医学英語教育学会誌, 第6巻, 第2号; 184-188, 2007.
5. 飯田恭子: 英語-専門領域のことばを学ぶ. 理学療法ジャーナル, 第42巻, 第7号; 596-598, 2008.

#### ②その他の論文

1. 飯田恭子: Usage of Medical Vocabulary. 月刊ナーシング, 毎月執筆担当 (計111枚の解説文), ~2001.
2. 飯田恭子: 生体機能総説. 雑誌「石垣」, 2-12月連載, 2003.
3. 飯田恭子: 医療英語アラカルト. ストレス科学研究所定期刊行誌, 毎月執筆担当 (計100枚の解説文), ~2004.
4. 飯田恭子: 英語論文・発表は動詞が決め手. 医学会新聞, 2005.
5. 飯田恭子: 看護領域の英語の課題. 医学会新聞, 2005.

#### △日本医療科学大学 保健医療学部 診療放射線学科 就任後のその他の論文

1. 飯田恭子: 国際化時代の看護専門職に求められる英語力. 日本医学英語教育学雑誌, 2007.
2. 飯田恭子: 看護英語 Lesson. ナーシングカレッジ, 毎月執筆担当, 2008~現在.

#### IV. 学会発表および研究発表

##### ②一般演題の発表

###### 【国際学会】

1. M. Owaki, Y. Iida, C. Sugishita: A Nursing support Program for Families with Disable Children. The 51<sup>st</sup> International Family Nursing Conference, Chicago, 2000.
2. Y. Iida: Analyses of Nursing Concepts Used as Foreign-Loan Words in Japanese Literature. The 51<sup>st</sup> International Family Nursing Conference, Chicago, 2000.
3. Y. Nekoda, S. Fukui, Y. Iida: A Renovative Software for Learning the Requisites of Nursing Research. 8<sup>th</sup> International Congress in Nursing Informatics. U. K, 2003.
4. M. Owaki, Y. Iida, et al: Nursing Intervention for Japanese Mothers of Children with Mental Retardation, Chicago, 2005.

#### V. 学術関連広報活動

##### ②その他の活動

###### 【委員歴】

1. 看護英語セミナーの実施. 臨床家, 大学院生, 通訳者向け, ~2008.
2. 姿勢研究所評議員および編集委員; 2000~現在.
3. ハラスメント委員会委員長; 2007~現在 (日本医療科学大学保健医療学部).
4. 図書委員会委員; 2007~現在 (日本医療科学大学保健医療学部).

5. 磁気健康科学振興財団評議員；2001～現在.
6. 日本エステテック機構理事；2007～現在.

#### VI. 現在研究中のテーマ

1. 医療英語の e-learning system の開発